

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式										
E111B026	特別支援教育論 A (Special Education (A))																
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
必修	1	3	教育学部			氏名 古賀精治・衛藤裕司・古長治基 E-mail skoga@oita-u.ac.jp,eto@oita-u.ac.jp, h-kocho@oita-u.ac.jp 内線											
授業の概要	通常学級に在籍する様々な障害（発達障害・軽度知的障害など）のある幼児，児童及び生徒に関し，学習上又は生活上の困難を理解し，個別の教育的ニーズに対応するための，組織的連携や必要な知識・支援方法について学ぶ。																
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1	特別の支援を必要とする幼児，児童及び生徒の障害の特性及び心身の発達を説明できる																
目標2	特別の支援を必要とする幼児，児童及び生徒に対する特別の教育課程や支援の方法を説明できる																
目標3	特別の教育的ニーズのある幼児，児童及び生徒の把握や支援について述べる事ができる																
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1	特別支援教育に関する制度（担当：古長治基）																
2	様々な障害の学習上又は生活上の困難（担当：古長治基）																
3	発達障害等のある幼児児童生徒の理解（担当：古賀精治）																
4	発達障害等のある幼児児童生徒への支援（担当：古賀精治）																
5	通級による指導と自立活動（担当：衛藤裕司）																
6	個別の指導計画と個別の教育支援計画（担当：衛藤裕司）																
7	発達障害等のある幼児児童生徒への支援体制（担当：衛藤裕司）																
8	その他の特別なニーズのある幼児児童生徒（担当：古賀精治，衛藤裕司，古長治基，非常勤）																
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	
ラーニング	A:知識の定着・確認	適宜小テスト等を行い、知識の定着を図る					工夫	その	他	の							
	B:意見の表現・交換	ディスカッションによる話し合いを行い，学び合う															
	C:応用志向																
	D:知識の活用・創造																
時間外学習の内容と時間の目安	準備	配付資料や参考文献等の情報を必要に応じて予習する（8h）															
	事後	授業時に扱った内容について考え、関連する資料を読む等して復習する（8h）															
教科書	「改訂第3版 障害に応じた通級による指導の手引 - 解説とQ&A - 」文部科学省著，海文堂出版，ISBN: 978-4-303-12416-8																
参考書	「小学校学習指導要領・小学校学習指導要領解説（平成29年4月告示）」文部科学省 「中学校学習指導要領・中学校学習指導要領解説（平成29年4月告示）」文部科学省																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	小テストまたはレポート（3回）	90%															
	レポート	10%															
注意事項	小試験があるので欠席等ある場合は、必ず申し出ること。																
備考	特になし。																
リンク	URL																